

遠藤原子力委員の海外出張について

平成11年3月19日
原子力調査室

1. 出張先

フィジー諸島共和国、クック諸島

2. 出張の期間

1999年3月21日（日）～3月27日（土）

3. 目 的

南太平洋諸国フォーラム（SPF）は、南太平洋の16カ国・地域からなる連合体で、政治・経済等幅広い分野で共通の関心事について協議する組織であり、地球温暖化に向けた特別声明を出すなど、環境問題に強い関心と懸念を表明している。

昨年（1998）の11月、SPF加盟15カ国・地域の大統領、首相、閣僚が出席し、地球温暖化問題・エネルギー開発についての懇談会が我が国において開催されたが、その議論をふまえ、将来の日本とSPF諸国との友好関係の維持・強化及び、今後の専門家・実務者交流の促進を目的として関係者との懇談を行う。

4. 日 程

3月21日（日） 羽田発

22日（月） ナンディ着

23日（火） ナンディ発 スバ着

SPFレヴィ事務局長等への訪問

SPF事務局関係者との懇談会

フィジー政府関係者との懇談会

日付変更線

23日（火） ラロトンガ着

24日（水） ヘンリー首相、ゴスリン法律顧問への訪問

25日（木） ラロトンガ発

日付変更線

26日（金） ナンディ着（シドニー・関西空港経由）

27日（土） 成田着